

D グループ [1/2] 場所を特定できる意見

■大深度区間の境界 ■大泉街道以南 ■地上部合流付近

■三原台3丁目の計画線境界 ■土支田通り ■開削部分 ■八の金憩いの森

■大泉学園1丁目と大泉町5丁目の境界付近の道路 ■大泉町5丁目 ■新座料金所以東

■交通 ■移転補償 ■交通 ■移転補償 ■まちづくり ■まちづくり ■環境

■工事中

- ・大泉学園一丁目と大泉五丁目の境界の南北の道路は現在通過交通が多く、工事車両が通ることになると小学校や幼稚園への通学通園の安全が確保されるのではないか心配。

■交通

- ・関越道側道の通行止めが解除されたら、大泉5丁目の住宅地内の通過交通車両が増えたという状況の中、大泉ジャンクションができると、通過交通車両がさらに増えたのではないか不安である。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の渋滞緩和のため、早期に関越新座料金所以東にETC専用の降り口を設置して欲しい。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の通過交通による騒音低減のため、早期に関越新座料金所以東にETC専用の降り口を設置して欲しい。

■新座料金所以東

■交通

- ・関越新座料金所以東にインターを設置して、外環のインターに乗り換えるために増加する交通量分を減らしてほしい。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の渋滞緩和のため、早期に関越新座料金所以東にETC専用の降り口を設置して欲しい。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の通過交通による騒音低減のため、早期に関越新座料金所以東にETC専用の降り口を設置して欲しい。

■環境

- ・換気所が低地にあるため、換気所を高くしてもらいたいなど高台にあるマンションに対して高さが十分でなく排気の影響があるのではないか心配。
- ・現大泉JCT周辺は熱がこもって気温が高いため、外環の外壁を緑化して温暖化対策をしてほしい。

■換気所周辺の盆地

■環境

- ・換気所から排出される窒素酸化物の影響が心配。
- ・換気所の性能についての詳細なデータを公開してほしい。
- ・換気所周辺の風害を減らすために、建物や煙突の角を丸くすべき。
- ・換気所ができるとぜんそくが悪化するのではないかと心配。換気所の数を増やすことで排気による影響を低くしてほしい。
- ・脱着装置をつけるなどにより、換気所からの窒素酸化物の排気をできるだけ減らしてほしい。
- ・大泉ジャンクションの換気所は中央、東名と比較して窒素酸化物などの排気量が最も多い。中央ジャンクション以北に換気所を複数設置するなど、周辺住民の健康への影響をできるだけ減らしてほしい。
- ・煙突の高さは可能な限り高くて、できるだけ遠くへ排気を飛ばしてほしい。
- ・脱着装置のフィルターはこまめにメンテナンスして、予定外に有害物質が排気されることがないようにしてほしい。

■換気所

■環境

- ・換気所から排出される窒素酸化物の影響が心配。
- ・換気所の性能についての詳細なデータを公開してほしい。
- ・換気所周辺の風害を減らすために、建物や煙突の角を丸くすべき。
- ・換気所ができるとぜんそくが悪化するのではないかと心配。換気所の数を増やすことで排気による影響を低くしてほしい。
- ・脱着装置をつけるなどにより、換気所からの窒素酸化物の排気をできるだけ減らしてほしい。
- ・大泉ジャンクションの換気所は中央、東名と比較して窒素酸化物などの排気量が最も多い。中央ジャンクション以北に換気所を複数設置するなど、周辺住民の健康への影響をできるだけ減らしてほしい。
- ・煙突の高さは可能な限り高くて、できるだけ遠くへ排気を飛ばしてほしい。
- ・脱着装置のフィルターはこまめにメンテナンスして、予定外に有害物質が排気されることがないようにしてほしい。

■凡例

- 特定のポイント
- ジャンクション地上部ゾーン
- ジャンクション地下部ゾーン
- 学校
- 公園・緑地
- 生産施設
- 主な公共施設等
- 主要道路
- 都県計画道路
- 河川
- 調査池
- 主な湧水
- 文化財・史跡
- 地表部の路地(外環)
- 地表部との他の施設
- 換気所
- シールドボルト一部(一部詳しくは付録4に記載)
- シールドボルト全部(全ての構造4に記載)
- シールドボルト(全ての構造4に記載)
- 内回り合流部(渓谷区については注意書き)
- 外環の地図(付録範囲)
- 外環の地図(付録範囲)(地上部より内側となる範囲を除く)
- 地表部の路地(外環以外)
- 現在の都市計画
- 進行方向

D グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環が東名までつながり、大泉ジャンクション周辺の住民にとって便利になることを期待している。
- ・外環が大泉から東名までつながれば、大泉ジャンクションで降りていた交通が減り、地域渋滞が少なくなることを期待する。
- ・新ICは地域にとってデメリットしかないので、できるだけ影響を少なくするようにしてほしい。

環境

- ・大泉ジャンクションの整備により生活が便利になることは期待しているので、排気による影響を低減させてほしい。
- ・外環ができることで生活、大気、音などがどうなるか心配だ。
- ・自然環境への影響を懸念している。
- ・外環が整備されると住宅内にある緑が無くなることが心配。

まちづくり

- ・長期的な視点で、この地域に安心して住み続けることができるように、十分な対策を行ってほしい。

安全

- ・ジャンクションができることで住宅地内への交通流入が増え安全性が低下することを懸念している。

工事中

- ・工事車両の通過時間を制限し、騒音による影響を少なくほしい。
- ・工事車両の通過時間を制限し、児童の登下校時の安全性を確保してほしい。

移転補償

- ・自分の家への影響を知りたいので詳細な計画線を公表してほしい。
- ・周りの建築動向を見ていると詳しい計画がすでに決まっていても直接計画にかかる地権者には知らされていないのではないかと不安である。建物の一部だけを整備用地とするのではなく、現在の建物や生活道路をできるだけ残すような計画線とし、生活への影響をできるだけ少なくするようにしてほしい。

計画検討の進め方

- ・大泉ジャンクションの計画線を決めた根拠や理由を教えてほしい。

E グループ [1/2] 場所を特定できる意見

■八の金憩いの森

環境

- 八の釜にある湧水を自然の状態で保全して欲しい。
- びくに公園（遊水池）をつくる時、区は八の釜を残すために、びくに公園（遊水池）の方に水が逃げないように矢板を打つて工事をした経緯があるので、外環計画もそのようなことを尊重してほしい。

- 八の釜の森を保全するなら民有地部分は個人の負担にならない方策が必要。
- 八の釜の「ホタルやカモモズクなどの生態系」は練馬区内でも貴重な財産であり保全すべき。
- 外環整備により八の釜の代償施設が整備されたとしても、それは人工のものでしかもなく、地域の自然体系はくずれることになる。代償施設をつくればよいということではなく、地域の自然体系に大きな影響を与えない計画にするべき。
- 外環整備後に現在の八の釜の一部が残されたとしても、自然体系が崩れてしまうようでは、単に八の釜の歴史を伝える場所でしかなくなる。それでは意味がない。地域の自然体系に大きな影響を与えない計画にしてほしい。
- 八の釜の「空間としての水と緑のかたまり」は練馬区内でも貴重な財産であり、大気汚染軽減の一助にもなる。保全るべき。
- 八の釜一帯の自然環境は、子どもが成長していく過程で遊びを通して環境学習できる貴重な場所であり、必要な場所である。保全すべき。

- 外環規模の整備をすれば、八の釜が残ったとしても、自然体系が崩れてしまうのではないかと懸念している。
- 八の釜の「空間としての水と緑のかたまり」は練馬区内でも貴重な財産であり、大気汚染軽減の一助にもなる。保全るべき。
- 八の釜一帯の自然環境は、子どもが成長していく過程で遊びを通して環境学習できる貴重な場所であり、必要な場所である。保全すべき。

■前原~大泉下屋敷~東浜通り東~目白通り

交通

- ジャンクションができるても交通渋滞は緩和されず、抜け道となっている生活道路にさらに車が増えるのではないか。生活道路に通過交通が流入しないような対策を望んでいる。

■トンネル部

安全

- トンネル内で火災が発生したときの換気上の対応について説明してほしい。地下、地上ともどのような状況になるのか不安。



0 50 100 150 200 m

■凡例



特定のポイント

ジャンクション地上部ゾーン

ジャンクション地下部ゾーン

学校

公園・緑地

生産地帯

主な公共施設等

主要市道

都市計画道路

河川

調整池

主な湧水

文化財・史跡

進行方向

環境施設帯

まちづくり

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

環境

トunnel坑口

三原台中学校・泉新小学校周辺

環境

安全

</

E グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環利用者が増えることにより、周辺交通量が増え、今以上に大気汚染や交通渋滞の悪化を引き起こすことが懸念される。
- ・西武池袋線の連続立体交差事業に伴う周辺道路の整備内容によっては、外環予定地周辺に交通集中を招くのではないか懸念される。

環境

- ・練馬区の大気汚染医療費助成認定患者数は23区中第2位であり、さらに既設外環道沿線に患者が多いという調査結果がある。外環道や換気所が整備されると、さらに大気汚染に起因する病気の患者が増加するのではないか懸念している。
- ・地域に暮らす者として空気の汚れや大気汚染、大気汚染に起因する病気の患者増加を実感している。
- ・外環道や換気所の整備により、排気ガスによる大気汚染が悪化し周辺地域住民の健康被害の増大が懸念される。周辺地域への影響（主に大気汚染）を最小限に抑えるような計画にしてほしい。
- ・三原台にごみ焼却所の計画もあり、外環とあわせ、大気への影響が心配である。
- ・雨の日の自動車の走行音が心配。今も雨の日は関越道を走る車のタイヤの音で迷惑している。

安全

- ・生活道路が外環利用者の抜け道として利用されることで安全性の低下が懸念される。特に小学校、中学校が近隣にあるため不安だ。

工事中

- ・工事中の工事車両増加による交通渋滞や生活環境への影響が心配。工事による影響の予測や工事の計画が明らかにされておらず、このまま進められてしまうのではないか心配である。
- ・工事車両が増えることで渋滞がひどくなり、今以上に抜け道化が進むのではないかという懸念がある。
- ・外環道整備と西武池袋線の連続立体交差事業の事業時期が重なると、工事車両の流入により、交通渋滞や生活環境への影響が大きくなることが心配。工事中の工事車両による影響を十分に考慮した監理をお願いしたい。
- ・工事中の残土によるほこりが心配である。
- ・工事車両によって影響を受ける範囲を広く想定して対策を立てほしい。
- ・地下の掘削工事で出た残土の搬出については、地域に対し配慮が必要。
- ・外環ができることにより便利になる人もいると思うが、地域で生活する側にとっては大気への影響や工事中の振動や地盤沈下など、生活環境や自然環境への影響が心配である。

移転補償

- ・計画にかかっている土地は売るに売れないし、将来計画が立てられない。とにかく早く進めてほしい。
- ・用地補償については、わかりやすくきちんと説明してほしい。

計画検討の進め方

- ・外環が整備されると大泉ジャンクション周辺の交通量が減少すると予測されているが、埼玉外環整備前後の調査結果をみると増加しており、予測の信憑性を懸念している。
- ・交通量の予測評価が現実と違っていることなどを考えると不安であり、調査・予測結果が正しく公表されているのかどうか不安。
- ・これほど湧水が豊富な地盤にトンネルを掘る訳だから、現状を知る意味で十分な地盤調査を行ってほしい。ボーリング調査はどの程度行っているのか知りたい。
- ・湧水や地盤への影響が心配である。地盤調査・湧水調査をしっかりと行って欲しい。

F グループ [1/2] 場所を特定できる意見

■八の釜憩いの森

環境

- 八の釜の自然、動植物となるべく残すという方向で、出来る手だてを示してほしい。
- 八の釜の場所はどうなるのか。壊したら元に戻らないので、できれば残してほしい。
- 八の釜は「江戸時代からの歴史性・場所性」「天然記念物」「湧水」「斜面林」「子どもの遊び場」という多様な要素があり、区の中でも重要な場所の1つと感じているが、なぜこのような貴重な場を通過する計画線になったのか、理由を知りたい。
- 八の釜の風情の中でも、特に湧水は人工的な復元であっても残したいと思うが、復元できるものなのか不安に感じる。
- 子どもが遊べる場がなくなることを懸念している。
- 斜面林や天然記念物の復元は出来ないと思うので、今まで保全するために、路線をずらすような工夫をすることは出来ないのか。
- 八の釜は「江戸時代からの歴史性・場所性」「天然記念物」「湧水」「斜面林」「子どもの遊び場」という要素があり、復元でもしてほしい。少しずらしても、ここ歴史・思いのあるところなので、各要素は復元して欲しい。



■凡例



■開削部分と緩衝緑地

まちづくり

・緑地（地上の部分）の使いみちが伝わってこない。子どもの遊び場に開放できないかと思うが、可能性はあるのか、条件や想定があれば教えて欲しい。

計画検討の進め方

・緩衝緑地や歩道の配置なども生活圏に影響があるので、実際に利用する地域で使い勝手を考え、提案できる機会を設けて欲しい。

環境

- 料金所が出来ることにより、ストップ・スタートによる排ガスが増える影響があるのでないか不安である。
- 料金所が出来ることにより、東映通りは、買いたい物や通学のための主要生活道路である。外環によって東映通りが寸断されてしまうのではないかと心配している。

外環と東映通りの 交差部周辺

まちづくり

- 八の釜の辺りは通学路にもなっており、行き来があるが、外環により地域が分断されてしまうのではないかと心配である。東西の行き来をどのように担保していく予定か、考えを示して欲しい。

■換気所

環境

- なぜ大泉に排気量の大きな換気所を造るのか。分散させられないのか。
- 換気所による環境や健康への影響が心配。
- 換気所の高さの検討にあたっては、美観対策もあるかと思うが、景観への配慮よりも、くぼ地にある地域としては、悪い空気がたまるところによる人命への影響が心配である。美観対策により安全対策が制限されるようなことが無いか、不安に感じている。
- トンネルの途中中に換気所を設けるのではなく、地上にあがる部分でのみ換気所を設けるのでは、トンネルの中間地点あたりは特に排ガスが溜まり、車に乗っている人にも影響があるのではないか、不安に感じる。
- 換気所から出てくる排ガスの量等の平均値予測を示されても、位置によって変わるものではないかと、近くに住んでいる者としては不安に思う。換気所に近い位置での数値なのか、各町会区分毎で出してもらう等すると不安が解消されると思う。

■目白通りインターチェンジ周辺

交通

- 目白通りインターチェンジを降りる車がさらに増えて、渋滞がひどくなるのではないか懸念がある。
- 外環は大泉でストップしているので交通渋滞が激しく、排ガスがひどく感じる。大泉でストップしている外環がつながれば、周辺の渋滞は少なくなるのではないか。

F グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

環境

- ・排気ガスによる健康への影響が心配。
- ・インターチェンジが出来ることにより、喘息やがん患者が増える等の風評があり、不安なので、近辺の小学校の小学生の喘息、地区内がん患者のデータを他地区と比較したり、今の閑越建設前後での変化の状況等を教えて欲しい。
- ・人体に影響の無いレベルをクリアしていると言われても、そのレベルが、近年変わったたり、国によって考え方方が違うという話を聞く。他国の値であっても、先進的な値、厳しい値をクリアできるようにして欲しい。
- ・ガン等の患者数とインターチェンジの有無等、インターチェンジの排気ガスと病気の関連を調べた調査結果があれば示して欲しい。排気ガスのデータを見ても、人体に影響の無い値の根拠も分からず疑問に思う。
- ・換気所について、最新の機能が装備されるといつても理解しにくいので、実際に動いている他の事例を皆で見に行って体感できると多少安心できるかもしれない。
- ・住民が大泉ジャンクション出来る前から現在までとりためたデータがあり、変化を記録している。国でもそういった経年変化のデータがあるのであれば示し、今後の影響予測を示して欲しい。
- ・外環完成後の環境への影響を把握し、速やかな対応が出来るよう、今から定期観測を初めて欲しい。風の状況・風速・風向き・天気・各時期ごとの大気の状態等のデータを収集していく欲しいがそのような事はしているのか、またする予定はあるのか教えて欲しい。
- ・大泉は高低差がある。大気への影響の予測の値は平らな地域での一般的な数値をとっているのではないか、地域の実情とそぐわないのではないか、と不安に思う。現地形や風向き等を加味したデータを出して欲しい。出している場合は、どの程度地域の状況を加味したものであるか説明をして欲しい。

工事中

- ・工事中に工事車両が近隣の道路に渋滞や生活環境に影響を引き起すのではないか心配。
- ・工事中の車両が増えると、渋滞や騒音が多くなるのではないか不安があるので、交通量や大型車による事故・振動などに配慮してもらうとともに、早い段階で配慮する旨を地域に説明して欲しい。
- ・外環建設にあたって、各区間でどれ位の期間工事をするところになるのか、生活にどの程度影響があるのかを教えて欲しい。

移転補償

- ・事業化される前に、外環予定地の地権者に十分な説明会を開いてほしい。

計画検討の進め方

- ・外環により地域全体の交通量がどう変わるのか、車の動きについて、広域の交通網の中で予測したデータを示してほしい。
- ・交通量のデータは、増える分、減る分両方あり、判断が難しいので、交通が便利になることにより、まちづくりや開発がどのように進み、生活がどのように変わるかも像を示してもらい、その影響を加味した交通量を算出してほしい。

G グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環ができると、周辺地域が便利になると、車が増え渋滞が悪化するのではないか。
- ・外環ができることにより周辺道路の交通量が本当に減少するのか懸念している。
- ・環八、環七を避けて外環に交通が集中するため、面白通りインターチェンジの交通量が増えるのではないかと懸念している。
- ・外環工事の建設手続きを迅速にして早くつなげて欲しい。
- ・計画通り外環が建設されると、車が道路にあふれ生活道路にも影響があるのではないかと懸念される。
- ・交通量が減るとの予測結果を懸念している。

計画検討の進め方

- ・事業費の概算について住民への説明がほしい。
- ・需要予測の結果について不信感がある。実際には予測と異なる結果になり、生活への影響などが生じるのではないか心配。
- ・将来、車そのものの環境対策やトンネル工事の技術的環境対策などの技術の進歩によって解決されることもあるのではないか。
- ・外環の問題だけでなく、「車の利用そのものを減らす」という根本的、社会的な方策を考えるべきだ。
- ・地元への影響だけでなく、東京全体の交通計画についても考える必要がある。

環境

- ・中央環状線の方式にならって、排ガス対策を考えてもよいのではないか。
- ・学校付近に外環が出来ることによる生徒への影響が懸念される。
- ・排気ガスによる健康への影響を心配している。排気ガスの吹き出しが4箇所しかなく、大泉インターチェンジ付近が最も影響を受けるのではないか。
- ・地下水や地盤に対する影響を心配している。地下水の流れ方や地盤沈下など長期的な視点で計画を検討すべきである。
- ・季節や気候によって、空気の流れの状況が異なると考えられるので、大気汚染の調査を四季折々やってほしい。特に遮音壁が何層にもなるので空気の流れが悪くなることが懸念されるので、その影響も調査してほしい。
- ・現在、付近の高速道路で、暑い日にはアスファルトが溶けてタイヤとの摩擦の音が聞こえる。外環が建設されるとこの音が大きくなる懸念があるので、路面の素材を検討、改良してほしい。
- ・大気汚染の実態が分からず心配なので、SO₂（二酸化硫黄）、NO_x、CO、ベンゼン、浮遊粒子状物（SPM）、ダイオキシンなどの排出調査を毎月定点で観測して、住民に対して説明できるようにしてほしい。
- ・開通後に事前に予測出来なかった問題が生じた場合の対応を事前に検討する必要があるのでないか。

安全

- ・事故や災害への対応を懸念している。

工事中

- ・工事期間中、交通渋滞が悪化するのではないか心配している。
- ・工事期間のトラックなどが迷惑である。周辺の学校の生徒を含めた地元への影響が心配。

移転補償

- ・移転対象者だが代替地について心配しており、具体的な説明がほしい。
- ・移転の補償についてどの段階で説明してくれるのか知りたい。
- ・移転になるかどうかの境界線上に住んでおり、どのように対応してくれるか心配している。